

平成 21 年 7 月 14 日

当会への取材訪問による感想・気付き

当会では、児童生徒さんの取材訪問をお受けしております。災害救援ボランティアや防災活動など、他団体では学ぶ機会の少ない取り組みについて、実務担当者からご説明させていただいております。下記は、当会へ取材訪問をされた公立中学校様の許可を得て、同校 3 年生の皆さんのコメントを一部抜粋したものです。

貴学活動のご参考になれば幸いです。

-全員が自分の身を守ることで、全員助かる-

「一人一人が自分の身を最優先して守ることで他の人を救えるという理由が分かって良かったです。理由が分かる前は、自分一人だけ逃げるのだと思っていたけれど、全員が自分の身を守ることで全員助かるという深い意味が込められていることが分かりました。」

-ボランティアは自発的なもの-

「今回は僕たちがまとめをしやすいようにパンフレットなどの資料を準備してくださってありがとうございました。(中略) ボランティアの仕組みなどが詳しく知ることができました。私の”この団体にとってボランティアとはどのような事だと考えていますか”という質問に”ボランティアはあくまで自発的なものであり、決して絶対にやるな、やれ、などと言われて行うものではない”答えられました。その答えに私はその通りだなと思いました。とても深い意味がある答えだなと思いました。救援ボランティアはいろいろな活動の中で行われていることが知ることができたので、とても良かったです」

-学んだことを学校の人たちに伝えていきたい-

「ボランティアを行う方法や私たちの質問に対してとても丁寧に一から教えていただき感謝しております。おかげでとても充実した時間を過ごすことができました。今回の追及活動で学んだボランティアについての考え方を学校の人たちに伝えていきたいと思います。」

災害救援ボランティア活動や防災活動について触れることは、阪神・淡路大震災の教訓から、命の大切さ、尊さを実感するものであると同時に、「自分だけは大丈夫」と考えてしまうことによる防災への意識の低さがもたらす被害と、悲しみを知ることであります。

災害救援ボランティア活動や防災活動は、誰にでも無条件に感謝される活動ではありません。しかし、そういったボランティア活動に触れた生徒さんは、みな「何の得も無いのに、なぜこの活動が必要なのか?」「自分たちには、何ができるのか?」を自分に問いかけます。

そうした疑問と気付きが、生徒さんの視野を広げ、今までは意識したことのないボランティアや命の大切さについて考えるきっかけとなります。

当会では、生徒さんのご訪問をお待ちしております。まずはお気軽にご相談ください。